

# SJクイズ

[問題編]

Q<sub>1</sub>

2023年の75歳以上の高齢運転者（第1当事者※・原付以上）による死亡事故件数は10年前（2013年）に比べ、どのような状況になっているでしょう？

- ①増加している ②減少している

※交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者または過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。

Q<sub>2</sub>

2023年の自動車運転者（第1当事者・乗用車、貨物車、特殊車）による年齢層別死亡事故を人的要因別にみると、75歳以上で最も多いのは次のうちどれでしょう？

- ①操作不適 ②安全不確認 ③内在的前方不注意（漫然運転等）

Q<sub>3</sub>

アクセルとブレーキの踏み間違い事故件数（2018～2020年・第1当事者・軽乗用車、普通乗用車）を年齢層別にみると、事故で最も多いのは75歳以上ですが、その割合は何%でしょう？

- ①約20% ②約40% ③約60%



**【使用上の注意】**

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください  
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

# SJ クイズ ?

[ 解答・解説編 ]

## Q1 解答 ②減少している

### <解説>

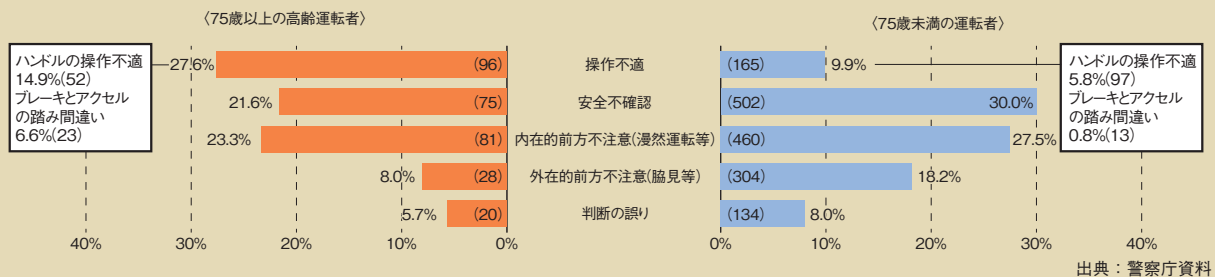
2023年の75歳以上の高齢運転者による死亡事故件数は384件で、2013年の460件から減少している。しかし、死亡事故全体に占める割合は11.9%（2013年）から16.7%（2023年）と高くなっている。今後、75歳以上の運転免許保有者が増加することから、75歳以上の死亡事故の割合も高まっていくと考えられる。長く安全に運転を続けるためには、加齢による身体機能の変化を自覚しておくことが大切だ。そして、見落としや判断の遅れを防ぐため、その変化を補うことを意識して運転する必要がある。

## Q2 解答 ①操作不適

### <解説>

自動車運転者の死亡事故の人的要因を75歳以上と75歳未満で比較すると操作不適が多い。その内訳は「ハンドルの操作不適」が最も多く、次に「ブレーキとアクセルの踏み間違い」となっている。不意の交通状況の変化などで運転中に慌てたり、パニックになると、操作不適につながりやすい。走り慣れた道でも漫然と運転をせず、常に危険を予測しながら運転することが重要である。また、高齢者は身体機能の低下によって、とっさの時に思い通りの運転操作ができない場合もある。速度を控えたり、前車との車間距離を十分とるなどして、交通状況の変化に対応できるようにしてほしい。

#### ●自動車運転者による年齢層別死亡事故の人的要因比較(2023年)

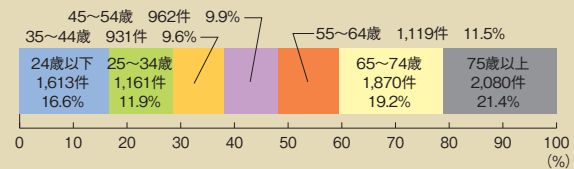


## Q3 解答 ①約20%

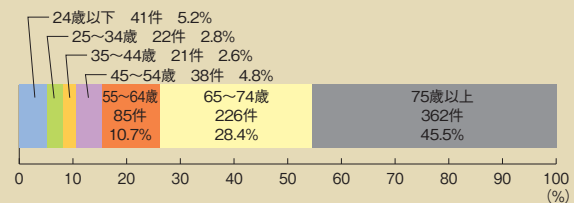
### <解説>

2018～2020年に発生したペダル踏み間違いによる事故件数は9736件。これを年齢層別にみると、75歳以上が2080件と最も多く21.4%を占めている。その一方で、24歳以下の割合も16.6%と多くっており、若者もペダルの踏み間違いを起こしていることがわかる。踏み間違い事故は高齢者特有の事故だと思われがちだが、若者をはじめ、どの年齢層でも起こす可能性があるといえる。また、踏み間違いによる死亡重傷事故件数は75歳以上が45.5%、65～74歳が28.4%と圧倒的に多くっており、高齢者による踏み間違いは重大事故につながりやすいことがわかる。踏み間違いを起こさないためにも、日頃から発進・後退をする際はブレーキペダルに足をのせておくなど予防のための運転をするよう心がけてほしい。

#### ●年齢層別・ペダル踏み間違いによる事故件数(2018年～2020年)



#### ●年齢層別・ペダル踏み間違いによる死亡重傷事故件数(2018年～2020年)



出典：(公財) 交通事故総合分析センター イタルダイナフォメーションNo.139

#### [使用上の注意]

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください  
本田技研工業(株) 安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736